学校番号	307

令和２年度地理歴史科目

教科	地理歴史	科目	地理Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	地理Ｂ（東京書籍）及び新詳高等地図（帝国書院）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ

・授業では、「入試問題の提示　→　解答の予測　→　解決のために必要な知識　→　解決する」といった一連の過程で、自分の予測を発表したり、議論したりする活動を行います。問題は、センター試験問題を中心に扱います。また、DVD による映像や映画を見ることにより、現在の地理的な事象への関心をもってもらおうと考えています。
・プリントは、B5 の大きさのものを配布します。ノートは A4 版を用意し、配布されたプリントはノートの見開きの左側に貼って、右側のスペースに、板書事項やメモを取るようにしてください。
・ノートは、毎回の定期テスト時に提出してもらいます。また、随時、出される家庭学習における課題も提出期限を守って、完成させて提出してください。
・普段の日常の生活に中で、地球の表面で起こるさまざまな自然現象、社会現象に注意を向けましょう。

２　学習の到達目標

現代世界の地理的事象を系統地理的に考察し，現代世界の地理的認識を養います。現代世界の諸地域を，歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し，現代世界の地理的認識を養います。地理的な見方や考え方を培い，国際社会に主体的に生きるための自覚と資質を養います。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	地図に関心を持ち、世界で起きている自然現象や社会現象を積極的に考察しようとする。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし，それを系統地理的に考察するとともに，国際社会の変化を踏まえて公正に判断し、表現できる。	地図や統計，画像など地域に関する諸資料をもちいて，有用な情報を選択，活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付けるとともに，追究した過程や結果を適切に表現する。	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート ノート提出 観察等	定期考査 ノート提出 ワークシート 小テスト 観察等	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	C	d		
1学期	地理情報と地図	・地球儀を活用する ・さまざまな世界地図 ・地形図の読み取り	○	○	○ ○ ○	○ ○ ○	a 地球上の水陸分布、季節や時差といった球面上の地球の特徴や国内外の各時代の世界地図を通し，当時の人々の世界観、地図への関心が高まり，さまざまな地図から地域の特徴を意欲的に読み取ろうとしている。 b 時差が地球の自転によって生じる仕組み，季節が地球の公転によって生じる仕組みを適切に表現している。 c 地球儀を用いて，地球上の任意の地点の経緯度を表したり，大陸間の方位や距離を示したりする方法を身に付けている。使用や表現の目的に応じ，適切な世界地図の投影法を選択する方法を身に付けている。統計資料等をもとにさまざまな種類の主題図の読み取りを行うことで地理的事象を考察する方法を身に付ける。 d 時差や季節が生じる仕組みと，地球儀と地図の特徴の違いについて理解し，それらの知識を身に付けている。さまざまな投影法で描かれた世界地図があることや，それぞれの投影法の長所と短所を理解している。地図には一般図と主題図があることを理解している。さらに，一般図である地形図の読図方法と，目的に応じてさまざまな種類の主題図の表現方法があることを理解している。	定期考査 ワークシート ノート提出

	自然環境	・世界の地形 ・世界の気候 ・世界の環境問題	 ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	a 地形の重要性やまざまな気候の成因を意欲的に考察しようとし、環境問題に関心が高まり問題意識を持っている。 b 地形や気候について，その成因を分類、考察し，その特徴と人間生活との関係を表現している。ある地点の地形の断面図、雨温図についてその特徴を読み取り，それらが世界のどの地点のものかを判断している。地球温暖化やオゾン層の破壊といった環境問題発生のメカニズムと，その影響を考察している。 c 任意の地域のさまざまな地図・写真・地形図・雨温図などの資料を通し，その地域の地形や気候の特徴と成因を読み取る方法を身に付けている。環境問題の背景・要因について，その地域的特徴を読み取る方法を身に付けている。 d 世界の大地形の分布の特徴についてプレートテクトニクスとの関わりから理解している。小地形の特徴とその形成過程とともに，人間生活との関係を理解している。世界のさまざまな気候について，それぞれの気候の気候要素の特徴を気候因子との関係から理解し，気候帯の分布と植生・土壌との対応関係を知識として身に付けている。それぞれの気候下における人間の生活・文化の特徴を理解している。地球規模で起こるさまざまな環境問題の背景・要因とそれによってもたらされる影響について多面的に理解している。	定期考査 ノート提出 ワークシート 小テスト 観察等
2学期	資源・産業	・産業の発展と産業地域の変容 ・エネルギーと鉱産資源の立地と変容、及び資源エネルギー問題 ・農業立地と農業地域の変容、及び食糧問題	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ 	 ○ ○	a 産業構成および産業立地の変化に関心をが高まっている。エネルギーの重要性と生産と消費の偏在性に伴い生じる課題や，原発がもたらす問題点に対する関心を深めている。農業と自然との関係や，歴史的な変革の過程に関心を持ち，近年の農産物貿易拡大によって生じる諸問題についても問題意識を持っている。 b 日本と世界各国の産業構造の変化について，その背景を考察している。エネルギー消費の偏りについて，その背景を考察している。原子力発電が石油代替エネルギーの筆頭にあげられる理由とともに，原発がもたらす問題点について考察している。鉱産物・農産物の輸出国と輸入国について，それぞれの国の特徴から貿易の背景を考察し	定期考査 ノート提出 ワークシート 観察等

							ている。農業立地の成立要因について自然，社会，市場との距離，経済水準，国家政策の側面から考察している。 c 産業構造やその変化を，表やグラフなどの図を用いて表現する方法を身に付けている。さまざまな資源の生産や分布，消費に関する統計を読み取り，品目ごとにその特徴を捉えている。農林水産業の生産や貿易に関する諸資料について，その特徴や問題点を適切に読み取っている。 d 産業の分類について理解した上で，産業構成の歴史的変容と，それに伴う産業立地の変化について理解している。さまざまな資源の分布と消費地を知り，それぞれの資源の貿易やその背景を理解している。世界の農・水産業の特色，分布，貿易の背景について自然，社会，市場との距離，経済水準，国家政策の側面から理解している。	
	資源・産業	・工業の立地と工業地域の変容 ・流通サービス産業 ・消費行動と消費関連産業	○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a 交通・通信手段および貿易の変化や，先進国のサービス経済化について、先進国と発展途上国の消費行動の特徴や，余暇行動の地域差に関心が高まっている。自動車やインターネットの普及が行動空間を変化させ，消費関連産業の立地に影響を与えていることに関心が高まっている。 b 工業立地に影響を及ぼすさまざまな自然条件や社会条件を考察し、さらに，現在までの工業立地の変化要因とそれによって生じる問題点についても考察している。交通・通信手段や貿易について，その変化や国ごとの特徴を明らかにし，その背景を考察している。先進国と発展途上国の消費行動の特徴や，余暇行動の地域差に影響を与えている背景を考察している。 c 工業の生産・交通・通信手段や貿易に関する諸資料について，国ごとの特徴や先進国と発展途上国，国際分業といった観点から，その特徴や問題点を適切に読み取っている。消費行動や余暇行動に関する諸資料をもとに，国ごとの特徴やその背景を読み取っている。 d 工業立地の類型、背景、先進国と発展途上国それぞれにおける産業の集積の特徴を理解し，国際分業の変化や国際競争の激化についても理解している。自由貿易体制が構築された背景や国際分業体制の特徴につい	定期考査 ノート提出 ワークシート 観察等

							て理解している。サービス経済化の拡大の背景や，サービス業の展開の特徴について理解している。先進国と発展途上国の消費行動の特徴や，余暇行動の地域差の背景を理解している。自動車やインターネットの普及が行動空間を変化させ，消費関連産業の立地に影響を与えていることを理解している。	
3学期	人口、都市、村落	・人口と人口問題 ・都市・村落 ・居住・都市問題	○ ○	○ ○ ○	○ ○	 ○	a 世界のそれぞれの地域が抱える人口問題、都市の分布および都市システムの国ごとの特徴や，都市の内部構造について、関心が高まっている。村落の立地と自然条件の関係について、発展途上国と先進国それぞれの居住・都市問題に関心を持ち，課題に対する取り組みにも関心が高まっている。 b 人口の諸資料から，国ごとの特徴と問題点を考察している。都市の分布および都市システムの国ごとの特徴や，都市の内部構造を考察している。村落の形態および村落の立地と自然条件の関係について考察している。発展途上国と先進国の人口問題の違いに気づき，その背景をそれぞれ考察している。発展途上国と先進国がそれぞれ抱える居住・都市問題の違いに気づき，その背景をそれぞれ考察している。 c 世界の人口分布や人口推移および人口ピラミッド、世界や日本の都市などの諸資料から，国や地域ごとの特徴と問題点を読み取っている。村落の形態や立地条件を地形図から読み取っている。人口爆発，少子高齢化などの諸問題を，人口に関する諸統計から正確に読み取っている。発展途上国と先進国がそれぞれ抱える居住・都市問題の現状とその背景を，諸資料や写真などから読み取っている。 d 世界の人口分布と人口推移および人口動態の特徴を理解している。人口移動の特徴とその社会的背景を理解している。都市の分布および都市システムの国ごとの特徴や，都市の内部構造について理解している。村落の形態および村落の立地と自然条件の関係について理解している。発展途上国が抱える人口爆発の要因とそれによって生じる社会問題，先進国が抱える少子高齢化の社会的背景とそれによって生じる諸問題とともに，それぞれの問題解決に向けた取り	定期考査 ノート提出 ワークシート 観察等

							組みを理解している。発展途上国における居住・都市問題について理解している。先進国における居住・都市問題について，その社会的背景や改善へ向けた取り組みについて理解している。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。

・系統地理の生活文化、民族、宗教及び地誌の内容は３年次の地理Ｂで扱うこととする。